

【別府大学大学院研究科の理念と教育目標】

別府大学大学院学則第2条及び第2条の2項をふまえ、研究科の理念及び教育目標を次のように定める。

文学研究科

伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育成する。

博士前期課程及び修士課程

日本語・日本文学専攻

伝統ある歴史をもつ国文学科の実績を基に、古代から現代に至る日本語・日本文学の教育研究を推進する。本課程では中学校・高等学校や日本語教育の教育職、出版関係の職などをめざす有為な人材を育成する。また、外国人留学生の教育を重視し、日本語・日本文学の豊かな学識を培い、国際的に活躍できる人材を育成する。

史学・文化財学専攻

歴史学・文化財学を社会の中で実践的に役立てる人材の養成をめざす。史学・文化財学専攻では、多岐にわたる領域（日本史、東洋史、世界史、アーカイブズ学、考古学、文化財保存学、民俗学、美術史学、地理学など）を通して幅広い知識と技能を修得し、融合的、横断的に教育を行い、高い専門性を有するとともに国際的視野や地域に即した発想で研究対象を捉えることができる人材を育成し、歴史・公文書管理・文化財など多様な社会的要請に応じて、地域で活躍できる人材を養成する。

臨床心理学専攻

「こころの専門家」として地域社会に貢献できる高度専門職業人の育成をめざす。本専攻は、修士課程のみで構成され、臨床心理学をめぐる特論、査定、演習、実習などの教育プログラムが用意されている。地域社会のさまざまな場で発生する「こころの問題」にたずさわる臨床心理士及びカウンセラーを養成する。

博士後期課程

後期課程は、日本語・日本文学専攻、史学・文化財学専攻からなり、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成する。

食物栄養科学研究科

食物栄養科学研究科の理念と教育目標

人々の健康生活に寄与するため、最新の栄養学・生命科学・健康科学の知識・技能に基づいた研究および研究指導を行う。

食物栄養学専攻

栄養学の先進的な研究領域である「栄養科学研究領域」、発酵食品学や食香粧科学等の食物学の先進的な研究領域である「食物科学研究領域」、分子生物学や生命工学、応用微生物学等の千四円的な研究領域である「応用生物学研究領域」を三つの柱とする。また、それらの研究領域を支える「研究基盤領域」では、研究に必要とする倫理や統計、技能等を学ぶ。